

全国水生生物調査の概要

【別添】

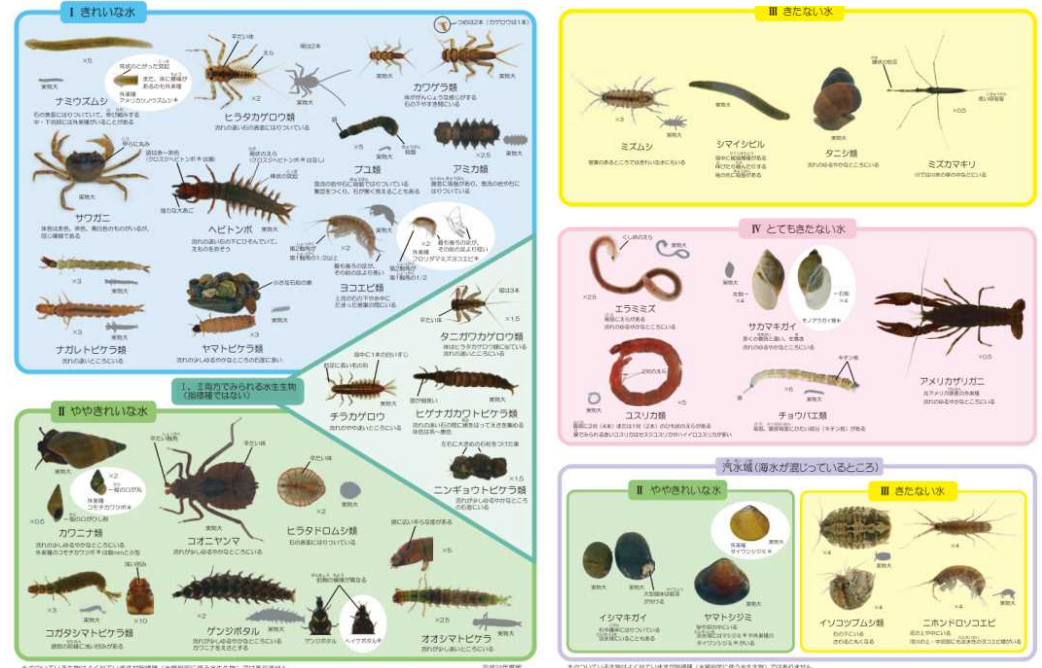
川の中には様々な生きものが住んでいます。特に川底に住んでいる生きものは、過去から現在までの長い時間の水質の状況を反映したものです。どのような生きものが住んでいるかを調べるにより、その地点の水質の程度を知ることができます。この調査は、適切な指導のもと、小学生、中学生、高校生、一般の人々のだれもが簡単にできるようになっています。

調査方法

本調査では、河川に生息する水生生物のうち、全国各地に広く分布し、分類が容易で、水質に係る指標性が高い、29種を指標生物としています。河川で水生生物を採集し指標生物の同定・分類を行い、地点毎に、(きれいな水)、(ややきれいな水)、(きたない水)、(とてもきたない水)の4階級で水質の状況を判定しています。



水質階級と指標生物



きれいな水 () の指標生物		ややきれいな水 () の指標生物	
ナミウズムシ	サワガニ	カワナ類	コオニヤンマ
ヒラタカゲロウ類	カワゲラ類	コガタシマトビケラ類	オオシマトビケラ
ヘビトンボ	ナガレトビケラ類	ヒラタドロムシ類	ゲンジボタル
ヤマトビケラ類	フユ類	ヤマトシジミ	イシマキガイ
アミカ類	ヨコエビ類		
きたない水 () の指標生物		とてもきたない水 () の指標生物	
タニシ類	シマイシビル	サカマキガイ	エラミミズ
ミズムシ	ミズカマクリ	アメリカザリガニ	ユスリカ類
ニホンドロソコエビ	イソコップムシ類	チョウバエ類	
両方で見られる水生生物(指標生物ではない)			
ヒゲナガカワトビケラ類	ニンギョウトビケラ類		
タニガワカゲロウ類	チラカゲロウ		

注) は海水の少し混ざっている汽水域の生物

平成27年度 全国水生生物調査(一級河川)の状況 【別添】

平成27年度の全国水生生物調査(一級河川)では、小中学校や市民団体等に協力を呼びかけ、448団体、延べ16,596人の参加を頂き、夏休み期間を中心に502箇所で開催しました。参加者数の多い都道府県は、北海道、兵庫県、島根県、福岡県でした。

子どもたちは、虫のほかにもたくさんの魚類などを見つけ、川の豊かさを実感するとともに、プールとは違った水の動きや川の流れを肌で実感することで多くを学んだようです。



常呂川水系常呂川(H27.9.2)

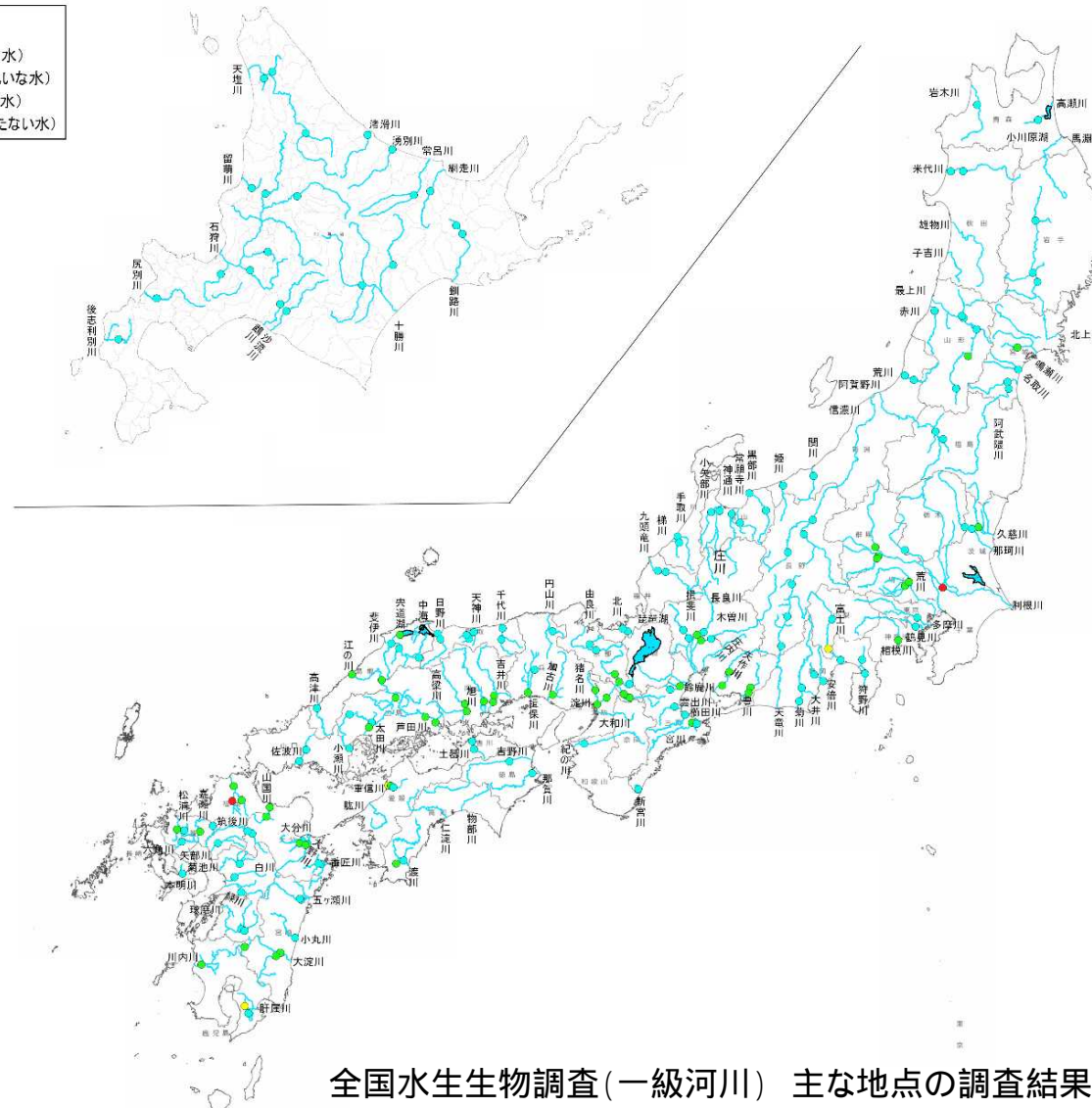


黒部川水系黒部川(H27.7.5)



淀川水系宇治川(H27.8.7)

- 水質階級
- I (きれいな水)
 - II (ややきれいな水)
 - III (きたない水)
 - IV (とてもきたない水)



全国水生生物調査(一級河川) 主な地点の調査結果